

6/18（金）で第1クォーターの学びが終了いたしました。4/5（月）の入学式では7名だった3年1組は、最終日時点で10名に、そして第2クォーターではさらに増えることになっております。6/17日（木）の学級懇談会で保護者の皆様にお話しした自己紹介で、それぞれの方が「なぜ SOLAN に来たのか」「SOLAN への思い」などをお話しいただき、改めて3年1組の担任でいられることの幸福感と、SOLANの教員としての使命感を感じました。本当にありがとうございます。

また2ヶ月半の第1クォーターの間、様々な形で学校を、そして子どもたちをサポートいただき本当にありがとうございました。コロナ禍でなかなかお会いできない中、普段からメール等で子どもたちのご自宅での様子や会話をお伝えいただくことで、学級指導や授業に活かしていくことができました。第2クォーターからは更に暑い日が続きますので、体調管理を含め一層子どもたちへのサポート、また本校の教育活動へのご理解とご協力の程、どうぞよろしく願いいたします。

スクールバス車内での iPad の使い方

6/16（水）にスクールバスでの iPad の使い方について学級で話し合いました。本校の校風に加え、3年生では「考動：自ら考え行動、判断できる児童への成長」を学年の目標としています。決められたルールに従うことも重要ですが、自分自身や学年、そして学校全体のことも考えながら、最高学年としてあるべき姿について考え、行動することも必要です。そのため、今定められているルールには何があるのか、その中で起きている事象は何なのか、それを解決するためにはどういった意識やルールが必要なのかを子どもたちと考えました。

初めにルールとマナーの違いについて、それぞれの意味やクラスや学校内のことを具体例としながら話し合いました。次に既に制定されているルールを取り上げ、その状況下で守られていない事象について、自分が行ったこと、また見聞きしたことについてそれぞれに挙げてもらいました。担任として把握しているものもあれば、初めて聞いたこともありました。そこから「そういった事象をなくすための意識やルール」について、2~3名のグループになって話し合いました。当日は OriHime を通して、北海道から由紀さんにも参加いただいていたため、1グループの話し合いに参加いただきました。多くのグループで出た意見としては、「学習のための iPad 活用の徹底」という点でした。有効的な活用ができていない点も多くあり、そこをストップさせるようなことになってはいけないという考えを持っている子もいて、非常に頼もしくなりました。YouTube など、画面を長時間見ることの影響については本人たちも多少なりとも理解があるようで、具体的な数字までは出なかったものの、時間の制限や使用と休憩のサイクル化という案も出ました。

予定していた1時間があっという間に過ぎたため、意見を出し合ったところで時間切れとなりましたが、3年生だからと侮れない非常に熱のこもった話し合いとなりました。今後もこういった話し合いを重ねながら学校生活のルールやマナーについて考えていきたいと思っております。

創立記念を祝う会

6/18（金）の第1クォーター最終日には、終業式に引き続き創立記念を祝う会を行いました。会の中で各クラス1分間の発表をする時間が設けられたのですが、子どもたちに案を聞いたところ、「3年1組の好きなことを Keynote で発表したい」となったため、1時間ほどで準備をして発表しました。発表方法について話し合った際、真っ先に Keynote が出てきたので、情報の授業を担当している者として、子どもたちがスキルとして

習得していることを実感できる嬉しい瞬間でもありました。話し合いの結果、「生き物」「授業」「先生」の3つについて発表することが決まり、グループに分かれ、意見を出し合って内容を決めました。伝えたい内容が溢れ過ぎて、1分にまとめることが何より1番大変でした。それだけこの2ヶ月半に思い出がたくさんあったのだと思います。会の発表では緊張した面持ちでしたが、最高学年として大トリに相応しい素晴らしい発表でした。

SOLAN Blog にはメディアクリエイターの増田さんが作ってくださった、第1クォーターの思い出をまとめた動画もあがっています。会では子どもたちはもちろん、私たち教員も第1クォーターを思い出しながら笑い懐かしんで見た映像ですので、是非ご覧ください。